

單書執圭之使不到對丞之禮既虧雙魚猶難達鳳池之月扁鵲何得入雞林之雲凡厥方物皆從却廻今以狀牒牒到進狀故牒

承曆四年月日

〔十訓抄〕唐の后あしき瘡出き給て其國の醫師力及ばざりければ日本雅忠と云いみじきくすし有と傳聞給て是を渡さるべき由唐の帝より申送り給へりけるにやりやらずの事公卿の御さだめありけり人々の申やうこゝろに定りえず帥民部卿經信卿とばかりまたれて參て事の次第聞て唐の後の死なん日本に何かくるしとたゞ一こといはれたりければ意見に付て渡さるまじきに定にけり其返牒は匡房承りてぞ書れける

雙魚難達鳳池之浪 扁鵲豈入雞林之雲

此句をば和漢共にほめあへりけるとぞ

昔反正天皇かくれ給て後御弟の允恭天皇いまだ皇子におはしける時久しく涸疾に沈み給へりけれ共群臣強にすめ申によりて位に即給にけり其後使を新羅へつかはして彼國の醫師をむかへよせて御病をつくるはるに程なく愈にけり殊に賞し給て本國へ返しやられけり其例聞及て異國よりも申送りけるにや

醫術流派
和方家

〔奇魂一〕醫藥名義并醫風變化
附本道辨

古は方士と定たる者こそ無りけめ神習の精術は有て貴も賤も各自病を治ためり後次々に漢籍の渡來つ大寶の比より令の裂りて典藥内藥寮司に頭正博士帥侍醫助介生等をおかれ藥鍼呪禁按摩等の差體療少小創腫耳目口齒等の科ありて生等の書を讀も業を成も日限年限有て月毎年毎に其功を試られ或は經學ナビナシエチ不成就ども療術に勝たるは擧用られ抔まつ諸國も是に准ふ法と成ても猶醫とのみ定めたるは稀にて國守たらん人にも大臣たらん人にも其道明